

## みちのく公園の冬支度「松の雪吊り」を行います ～推定樹齢600年のゴヨウマツを雪から守る技の公開～

みちのく公園では、この度、ふるさと村の『湯田河の松』(通称:鶴の松)に『雪吊り』を行うこととなりましたのでお知らせいたします。

この松は推定樹齢600年のゴヨウマツで、これまで大切に守られてきました。この機会に伝統的な造園技法を多くの方にご覧いただければ幸いです。「雪吊り」作業の公開は11月20日、21日の2日間を予定しております。

### 【作業日程】

- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 1日目 11月20日(水) | 吊り縄の設置                       |
| 2日目 11月21日(木) | 袴編み、根藁編み、藁ぼっちの取付、化粧縄の緩み直し、完成 |



### お問い合わせ先

国営みちのく杜の湖畔公園 みちのく公園管理センター 担当/内海・藤本・佐藤  
〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9  
TEL:0224-84-5991 FAX:0224-84-5992

### 【“湯田河の松”とは】

「湯田河の松」は、ふるさと村釜房の家の庭に植栽されたゴヨウマツです。

かつて釜房ダム建設によって水没した湯田河温泉にありました。

樹形は3本立ちで、中央の幹を囲むように脇の2本が湾曲する特異な樹形をしており、その枝振りが翼を広げている鶴のようにも見えることから「鶴の松」と呼ばれ親しまれてきました。

樹高6.5m、推定樹齢は600年と言われ、川崎町の指定文化財とされている“川崎町の宝”です。

昭和43年、釜房ダム建設時に湯田河温泉から高台へ移植され、平成16年、当公園のふるさと村釜房の家に再移植されました。



### 【“雪吊り”とは】

雪吊りとは、冬の間、樹木の枝に雪が付着し、その重みで枝が折れることのないよう縄で枝を保持する伝統的造園技法です。

「湯田河の松」に施す雪吊りは、雪吊りの代表的手法である「りんご吊り」です。

樹木の幹付近に柱を立て、柱の先端から各枝へと放射状に縄を張る手法です。

この手法は明治以降、西洋りんごの栽培が日本で始まり、りんごの実の重さから枝を守るために行った初期の技法に由来します。



### 【雪吊りに合わせた化粧内容】

雪吊りには、雪から枝を守るという実用的な意味合いもありますが、その美しさから冬景色を演出する化粧の意味合いもあります。

雪吊りの美しさと雰囲気をもっと際立たせるため、吊り縄のほか、化粧として袴編み、根藁編み、藁ぼっちを根元に飾ります。

※根藁編みには根の凍害防止効果もあります。



### 【作業日程】

作業は全て人力によるもので、みちのく公園への再移植の時から「湯田河の松」をお世話していただいている造園業者により執り行われます。